安全作業手順書【除草剤散布・薬剤散布】

作成日・改正日	2025/6/10 （前回改正：2025/4/1）	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具・車両	刷毛、動噴	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ 保護メガネ、保護マスク、切創作業用手袋、軍手

見積もり基準をした危険性の評価

重大性(B) / 可能性(A)	○ 軽微（不休と休業3日以内）	△ 重大（休業4日以上）	× 極めて重大（死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない（5年に1回程度）	○○（極めて小さい）	○△（かなり小さい）	○×（中程度）
△ たまに起こる（1年に1回程度）	△○（かなり小さい）	△△（中程度）	△×（かなり大きい）
× かなり起こる（6ヶ月に1回程度）	×○（中程度）	×△（かなり大きい）	××（極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし（様子を見る）
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント（～なので～になる）	リスクの見積り（A）	（B）	リスク	安全対策（危険度2以下へ）（私達はどうする）	リスクの再見積り（A）	（B）	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1
		作業員の役割（運転手、助手）を決める	免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ｽﾃｯｶｰを確認する	○	△	2
		作業場所及び車線を確認する	上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように	／	／	／	／	／	／	／	／
		交通規制状況を確認する	必ず当日の規制簿を使用して	／	／	／	／	／	／	／	／
		しらすんだ一の動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1
		動噴の点検を行う	出発前に必ず	作業中に動噴が故障する	△	△	3	出発前に必ず点検を行う	○	△	2
		使用薬剤の安全データシートを確認し、取扱い方法、使用時の防護状況および危険性の周知を行う									
	車両確認	セーフティーバイブル		25.車両回送手順書に則る							
	作業車両準備										
	作業車両点検										
	出発準備										
本作業	出発										
	規制内進入										
	車両移動停止										
	逸走防止										
	準備作業	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2
		薬液を配合する	毒性成分を含有しているため、保護具を着用して	配合中に薬液が作業員に飛散し、被災する	○	×	3	必ず全身被覆できる保護具を使用する	○	○	1
	散布作業	対象の草に薬液を塗布する	①擦り付けるように	／	／	／	／	／	／	／	／
			②動噴を使用して均一に、風向きに十分注意して	散布薬剤が一般車両に飛散する	△	△	3	風向きに十分注意して作業する	○	△	2
		配合した薬液を全て使用しきる	水路などに不法に投棄せず	／	／	／	／	／	／	／	／
		場内の状態確認を行う	周囲の安全に気をつけながら	／	／	／	／	／	／	／	／
		離脱前に、散布器具の圧抜きをする	圧抜き時は、循環ホースをタンクに入れた状態で散布機の電源を切ること。排水ホースの薬液がタンク内へ戻されます。	ホースがタンクから出していると薬剤が周囲に飛散する	△	△	3	作業時は周囲への安全を確認し、必ず2人以上で声を掛け合って行う。	○	△	2
	現場離脱及び	25.車両回送手順書に則る									
	帰着駐車	25.車両回送手順書に則る									
	後処理	使用した薬剤容器を薬剤倉庫に保管する	容器の栓が閉まっているか確認して	薬剤が第三者に盗まれる	○	×	3	倉庫は必ず施錠し、農薬管理表で確実に管理する	○	○	1
		運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	／	／	／	／	／	／	／	／
特記	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1